

【生徒総会校長講評】

生徒会総務・委員長・部長をはじめ準備・運営に関わった生徒のみなさん、ほんとうにご苦労様でした。しっかりと準備してきた甲斐があって、滞りなく進行することができ大変立派でした。今年度の活動計画を見ると、学校生活をよりよくするために頑張っていこうとする意気込みが伝わってきます。是非、これから積極的に行動して行って欲しいと思います。また、みなさんの参加する態度は、落ち着いていてとても素晴らしかったです。生徒会とは、役員や委員長のことではなく、みなさん一人一人のことです。みんなの知恵と力を合わせてよりよい柏中をつくって行って欲しいと思います。

さて、みなさんに質問です。『「自分は学校や学級を変えることができる。」と思いますか?』

「学校がこうだったら良いな!」、「学級がこんなだったら良いな!」、「部活動がこういうふうになっていたら良いな!」と思うところが、みなさんあるのではないのでしょうか。でも、変えようと自分の想いを発信したり、行動したりしている人はどのくらいいるのでしょうか。諦めて現状を受け入れたり、不平不満を言っていたりするだけで良いのでしょうか。「全員参加の生徒会」とは、一人一人が自分の想いを発信して、その提案についてみんなで考えて、「よし!」と思ったことを実行していく、変えていくことだと思います。結果として、自分達が幸せに生活できるようになるわけです。こういった生徒会活動を通して、将来的には、柏中のみなさんには、社会を変える人、国を変える人になってほしいと思います。

学校生活の主役はみなさん一人一人です。主役としてどう振舞い、どう柏中を良くしていくのか楽しみにしています。期待しています。